

事務事業名		公園施設整備事業		所属部	建設部	所属課	都市計画課					
総合計画体系	政策名	(Ⅱ)安全・安心で快適なまち<<定住環境>>		所属G	都市計画グループ		課長名	嘉本 俊一				
	施策名	(09)都市・住まづくりと土地利用の推進		担当者名	原 大輔		電話番号	0854-40-1064				
	目的	対象	市内全域	意図	有効かつ効果的に利用・整備する。							
	基本事業名	(028)居住環境の整備促進		予算科目	会計	款	大事業	大事業名	公園施設整備事業			
目的	対象	市内全域	意図	居住環境を整備する。				中事業名	公園施設整備事業			
					0	1	4	0	0	2		
					2	0	1	5	0	1		

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (21 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
雲南市には現在6箇所の都市公園が供用されており、当初設置された施設の中には、老朽化が著しい施設やバリアフリー未対応の施設が多くある。よって、本交付金事業により、都市公園施設の長寿命化やバリアフリー化を図り、幅広い市民に安心して利用できる施設となるよう整備を図る。	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動				
	27年度実績(27年度に行った主な活動) ○加茂中央公園野球場の改修工事を行った。 ・測量設計業務5,748千円 ・改修工事19,407千円	28年度計画(28年度に計画する主な活動) ○都市公園施設長寿命化計画の変更策定を行う。(H27年度に加茂中央公園に追加した「ふれあいの丘」の施設を長寿命化計画に追加する)			
② 活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	ア 整備公園数	件	2	0	1

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	都市公園施設	ア 整備公園数	件	5	6	6	6
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
	長寿命化対策・バリアフリー化対策を実施した都市公園施設数	ア 整備公園施設数	箇所	2	0	1	0

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (27年度決算)		② コストの推移		単位	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(計画)
事業費	加茂中央公園野球場測量設計業務5,748千円	財源内訳	国庫支出金	千円	15,000	0	12,300	3,750
	加茂中央公園野球場改修工事19,407千円		県支出金	千円				
	雲南都市計画公園施設長寿命化計画変更業務3,905千円		地方債	千円			14,000	
			その他	千円	14,200			
			一般財源	千円	867	0	2,760	3,830
			事業費計 (A)	千円	30,067		29,060	7,580
			正規職員従事人数	人	2	1	2	
			延べ業務時間	時間	500	20	500	
			人件費計 (B)	千円	1,947	78	1,957	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	32,014	78	31,017	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
都市公園施設について、都市公園移動円滑化基準に見られるように高齢者や障がいを持った方の移動の円滑化、施設の利用しやすさが問われるようになった。	これまでに木次運動公園野球場へのスロープ及び多目的トイレの設置、大東公園、加茂中央公園野球場に多目的トイレの設置を行っている。 また、平成27年度には、かねてより改修要望のあった加茂中央公園野球場の改修工事を行っている。	住民からは、公園内施設のバリアフリー化、施設老朽化に伴い修繕を望む声が多くある。 また、老朽化により機能低下した施設の機能回復等を望む声がある。

事務事業名	公園施設整備事業	所属部	建設部	所属課	都市計画課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	工法等の検討により、より良い成果となっている。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	市民の公園利用の安全を確保できない。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	類似事業がないため。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない																									
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	工法等の検討を行い、最小限の事業費で対応している。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の人員で対応しているため。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	都市公園施設の所有者が市であるため、公平・公正は保たれている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			雲南市都市公園において、公園施設のバリアフリー性が向上した。																							
公園施設長寿命化計画に基づき整備を行う			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																										

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果
------------------------------------	----------------